

# ASICON2019 の発表成果報告書

## 感想文

群馬大学大学院 理工学府 理工学専攻

電子情報・数理教育プログラム

令和元年 11 月 07 日

学生： チャンミンチー

学籍番号： T182D002

出席会議名称：「13th IEEE International Conference on ASIC (ASICON2019)」

会議期間：令和元年 10 月 29 日から 11 月 01 日

発表題名：

- “Flat Pass-Band Method with Two RC Band-Stop Filters for 4-Stage Passive RC Polyphase Filter in Low-IF Receiver Systems”
- “Minimum Output Ripple and Fixed Operating Frequency Based on Modulation Injection for COT Ripple Control Converter”
- “Overshoot Cancellation Based on Balanced Charge-Discharge Time Condition for Buck Converter in Mobile Applications”

この学会は中国重慶市で開催されました。学会名にある通り、回路設計や信号処理や通信システム分野の研究成果を発表し合い、研究をより有意義なものとするのが目的です。私は Signal Processing や Power Management というセッションで発表しました。短時間での発表が初めてで、緊張しました。英語での質疑応答は大変でした。英語能力を高めていきたいと感じました。基調講演や他大学の方の発表を聞くことができ、専門分野についての理解を深めるとともに、他分野への視野を広げました。留学生にとって、この国際の学会発表経験は一生の宝です。この会議に参加できたおかげで、一流の研究者との交流ができ、最先端情報が得られました。半導体回路設計技術の知識が必要だと思います。今後、自分の専門分野の知識を学んで、理解を深めるとともに、英語と日本語能力を高めていきたいです。

国際会議に参加させていただき、どうもありがとうございました。この国際会議で得られた知識は本当に役立ちました。



令和元年 10 月 29 日から 11 月 01 日、中国重慶市で、電気学会の集積回路関係の国際会議に行きました。



今回、ASICON2019 に参加させていただきまして中国の雰囲気を感じることができました。様々な観光地の合間には超高層ビルが立ち並んでおり、中国重慶は素晴らしい町だと感じました。



海外の人のプレゼンテーションや研究は自身の学習にもなり、貴重な経験となりました。



海外での学会に参加して標準語である英語はもちろん開催地中国語での会話が必要となる場面が多々あり、他言語での会話の重要性を再認識しました。また発表では同じ研究分野でも問題解決におけるアプローチの柔軟性を目の当たりにし、視野の広さが今後の課題となることを感じさせられました。



食べ物としては、重慶では火鍋が有名なので、それも食べて美味しかったです。



賞をもらっている研究者。おめでとうございます。



今回論文発表のため研究から発表までのご指導いただいた小林春夫教授, 小堀康功客員教授、学会参加のサポートをしていただいた桑名杏奈助教を始めとする研究室の諸先輩後輩方に感謝を申し上げます。

来年の国際学会に向けて、これから、一生懸命頑張りたいと考えます。